



# 機関リポジトリを中心とした 九州大学附属図書館の事例発表

図書館総合展「オープンアクセス加速化事業 中間報告会」

2024年11月6日(水)

九州大学附属図書館eリソース課リポジトリ係

平野 かおる

# 自己紹介： 平野 かおる (Kaoru Hirano)

---

- 2017.04 九州大学附属図書館 入職
- 2017.04-2019.03 理系図書館 理系資料サービス係(窓口業務)
- 2019.04-2023.03 医学図書館 受入目録係(図書購入・受入)
- 2023.04-現在 eリソース課 リポジトリ係



係長 1名、係員 2名、事務補佐2名  
テクニカルスタッフ1名【中村哲著述アーカイブ専任】  
...計6名で業務

1. 九州大学のこれまでの取組みとオープンアクセス加速化事業
2. 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)での取組み
3. その他
  - ① APC支援
  - ② 人文系研究データ公開環境の構築(試行的取組み)
  - ③ 研究データ管理

1. 九州大学のこれまでの取組みとオープンアクセス加速化事業
2. 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)での取組み
3. その他
  - ① APC支援
  - ② 人文系研究データ公開環境の構築(試行的取組み)
  - ③ 研究データ管理



## 九州大学のOA推進の方向性・方策

(2021.4 ジャーナル検討タスクフォース)

大学全体として

**Green OA**

により可視性を担保しつつ

戦略的に

**Gold OA**

を進める

➡ QIRへの登録を促進した部局へ、インセンティブ経費の配分

➡ リポジトリ登録支援システムの開発

➡ 転換契約によるAPC支援

➡ 期間限定APC支援拡大キャンペーン



## 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針

(2024.2 統合イノベーション戦略推進会議)



R5補正予算/R6実施

## オープンアクセス加速化事業

九州大学では…

■九州大学学術情報リポジトリQIRの機能高度化

■APC支援

■研究データストレージシステム

QRDMの長期保存対応

…等を実施

# 1. 九州大学のこれまでの取組みとオープンアクセス加速化事業

## OA加速化事業:九大の応募申請書より

取組内容	2024年度 (令和6)	2025年度 (令和7)	2026年度 (令和8)	2027年度 (令和9)	2028年度 (令和10)	2029年度 (令和11)以降
1. リポジトリでのOA促進と人的支援の充実 ・登録支援機能の開発・提供 ・業務最適化によるOA加速化の人的体制の強化	リポジトリ機能強化					
	業務最適化と人的体制の強化					
	登録促進部局へのインセンティブ経費の配分(第4期中期目標期間)・段階的な指標引き上げ					
	登録促進部局へのインセンティブ経費の配分(第4期中期目標期間)・段階的な指標引き上げ					
2. 効果的なAPC支援による戦略的なOA推進	戦略的APC支援の試行	転換契約・APC支援に関する調査・分析・評価・施策への反映				
	転換契約の拡充・運用					
	APC支援策の検討・実施					
3. 様々な分野に対応した研究データの公開・利活用促進 ・人文系・標本類データの公開環境の構築 ・長期保存のための環境構築	人社系データ公開機能開発	試行運用・機能改善・手順確立				
	ストレージシステムの拡張・階層化		他の研究室への拡大・根拠データのOA促進			
	離職研究者のデータ受入試行・管理手順等整備					
	長期保存環境の整備・運用安定化・データ公開					
4. 研究者・職員の意識改革	啓発コンテンツの作成・Webサイトの強化					
	各キャンパスの研究者支援体制の強化・スキル向上					
5. 学術情報流通に係る基盤整備	アドボカシー活動・OAモニタリング					
	ORCIDのシステム連携の強化					

## OAサポートチームの結成 2024.8結成

- 本学の研究者及び職員のオープンアクセスに対する意識醸成・意識改革
- 全キャンパスにおける、オープンアクセスや研究成果発信に関する研究者支援体制の整備・充実
- OJTを通じた、研究支援や学術情報流通に関する九大図書館職員の知識習得、資質・スキルの向上

活動内容(例) ※主に2024年度に想定している活動

### a) OA啓発活動の企画・実施

- 説明会の企画・実施、啓発チラシ作成・配布
- 本学研究者のOAに関する意識調査 等

### b) OA加速化体制の整備

- 各館のOA加速化体制の整備の検討
- 各キャンパスにおけるOA加速化の方策検討 等

### c) OAに関する知識・スキル向上(自らの向上/人材育成)

- 国内外の先行事例調査(訪問調査/各種シンポジウム等への参加)
- 事例報告会・研修会等の実施 等

国の即時OA方針が示すスケジュールを鑑み、本サポートチームは、2028年度までの活動を想定する。

各館・各業務  
から参加



合計23名

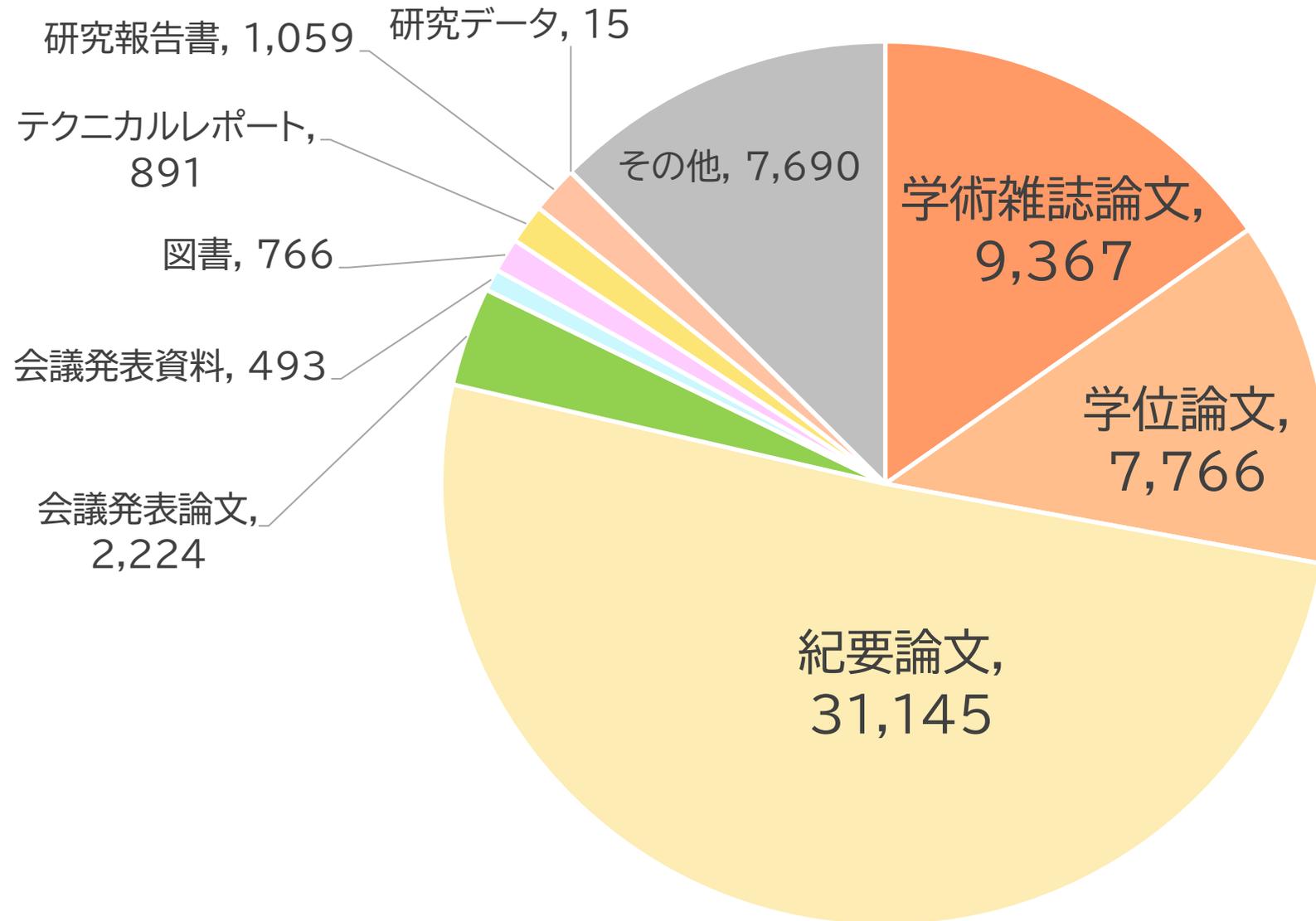
啓発コンテンツ  
サブチーム

OA意識調査  
サブチーム

勉強会企画  
サブチーム

1. 九州大学のこれまでの取組みとオープンアクセス加速化事業
2. 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)での取組み
3. その他
  - ① APC支援
  - ② 人文系研究データ公開環境の構築(試行的取組み)
  - ③ 研究データ管理

### QIRのコンテンツ数・コンテンツタイプ内訳



公開コンテンツ数合計  
**61,416**件  
(2024年9月30日現在)

OA加速化事業前の取り組み:リポジトリ登録のインセンティブ化(大学改革推進経費)

### QIR登録を大学改革推進経費の指標に追加

→R6年度より、QIRへの登録状況に応じて、各部局に研究経費(教育研究基盤校費)を増額配分(R4.2.財務委員会にて承認)

- ねらい

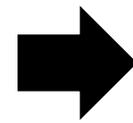
- ✓ 大学におけるオープンアクセス・オープンサイエンスの推進
- ✓ 世界中からのアクセスを容易にし研究インパクト向上に繋げる

国内でも  
画期的な  
取り組みです！

- 結果 【2023年3月末】

指標対象者数に対するQIR登録者率が

**10%** の部局がほとんど…



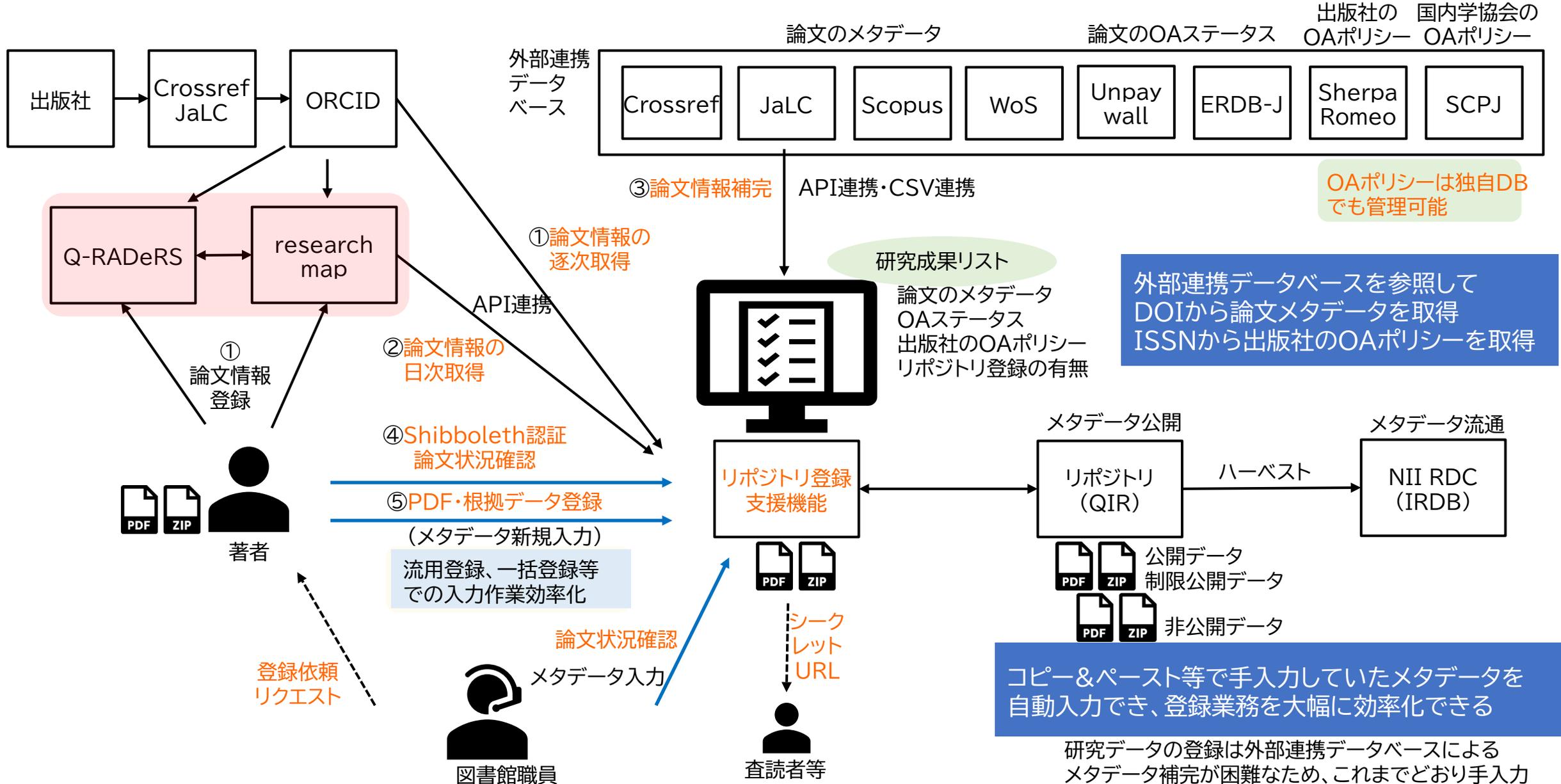
【2024年4月末】

ほとんどすべての部局で

**50%** 以上に！

# 2.九州大学学術情報リポジトリ(QIR)での取組み

九州大学のリポジトリ登録支援システム改修案（セルフアーカイブ機能の強化・全体像） 改修で実現したいこと



1. 九州大学のこれまでの取組みとオープンアクセス加速化事業
2. 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)での取組み
3. その他
  - ① APC支援
  - ② 人文系研究データ公開環境の構築(試行的取組み)
  - ③ 研究データ管理

**【期間限定】**  
**論文掲載料APC**  
**支援拡大**  
**キャンペーン**

九大 APC支援

2024.8月版

**ただいま実施中**

論文掲載料APCの支援対象を、期間限定で  
**すべての出版社・学会のジャーナル**に拡大！  
3割の経費負担で、論文を**オープンアクセス**にできます

実施期間：2024年8月～2025年2月末(予定)

条件

- 論文の出版手続きを行う責任著者が九州大学に所属していること
- 著者負担分を支払える予算を持っていること

支援の詳細はこちらをご覧ください 日本語 English

対象期間	対象誌	著者負担額	詳細ページ
 2024. 4. 1～ 2027. 3. 31	ハイブリッドOA誌 ※フルOA誌や一部のハイブリッドOA誌は対象外 -詳細ページでご確認ください	APC価格表の日本円 価格の3割	対象外雑誌の APC割引制度 あり
 2024. 1. 1～ 2024.12.31 (期間延長予定)	ハイブリッドOA誌 およびフルOA誌	APC価格表のUSドル 価格の3割に為替 レートを乗じた額	
 2024. 1. 1～ 2025.12.31	すべてのハイブリッドOA誌 ※フルOA誌は対象外	APC価格に為替レ ートを乗じた額	
<b>すべての 出版社等</b>  2024.8～ 2025.2末	ハイブリッドOA誌 およびフルOA誌  ※上記3社転換契約 対象誌以外も含む	出版社請求額の3割	期間限定 APC支援拡大 キャンペーン

(条件) ・論文アクセプト日と出版社請求(または領収)日付が8月1日以降  
・2月末までに書類提出が可能であること

(主な手順) 1.論文のアクセプト後にAPC補助の申請フォームへ入力  
2.支払書類を図書館に送付  
3.著者負担額を図書館が徴収

APC支援情報の詳細は図書館ウェブサイト下部のバナー「APC support」からもご覧いただけます  
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/gold/apc>

【APC支援に関するお問合せ先】 附属図書館eリソース管理係  
 Tel 092-802-2489 calib@jimu.kyushu-u.ac.jp

(転換契約により支援実施中)

## 2024年から3社で転換契約を開始

- ・ Wiley・Elsevier・Royal Society of Chemistry (RSC)
- ・ 著者はAPC定価の3割を負担



## OA加速化事業での取り組み

### 期間限定APC支援拡大キャンペーン

上記3社以外の出版社・学会のジャーナルにも拡大して適用

#### 目的

- ・ 多くの研究者へのオープンアクセス出版機会の提供
- ・ 学内におけるオープンアクセスへの意識の醸成
- ・ 今後のAPC支援策等の検討のためのデータの収集

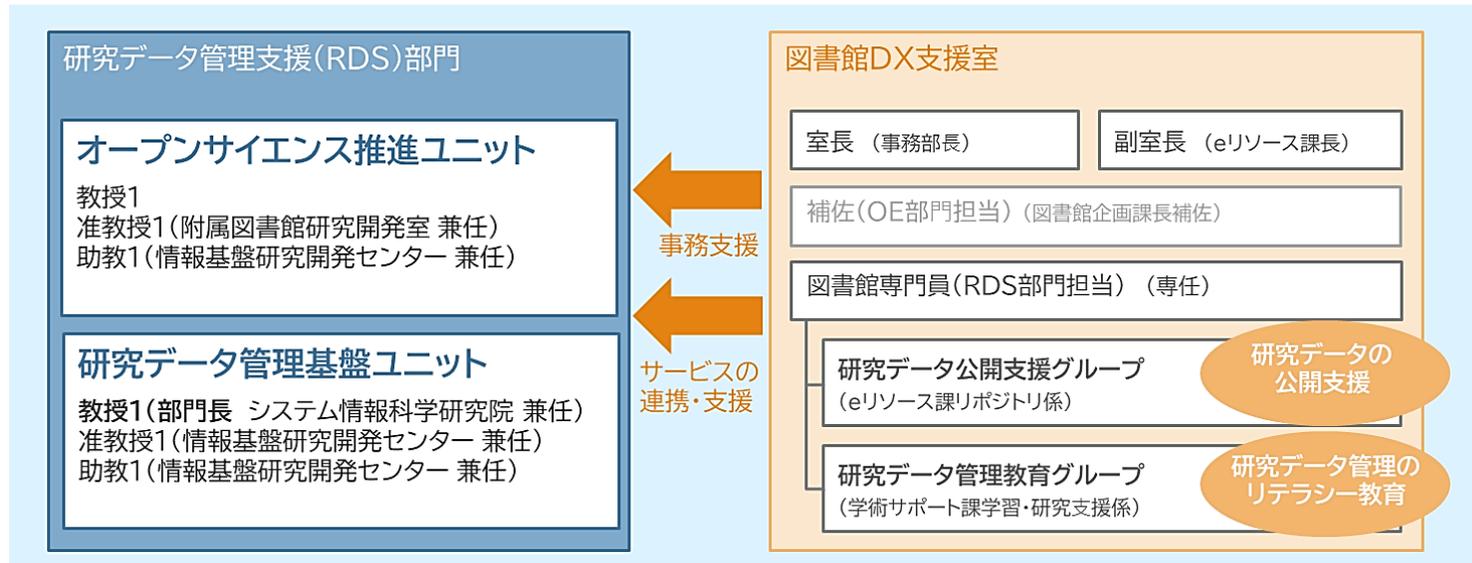
#### 運用

- ・ 実施期間は今年8月から来年2月末
- ・ 著者はAPC請求額の3割を負担



データ駆動イノベーション推進本部に  
「研究データ管理支援(RDS)部門」設置  
(2022年4月)

附属図書館に「図書館DX支援室」を  
設置し、RDS部門と連携



- データポリシー等の整備
  - 研究データ管理・公開ポリシー, 同解説(2023年3月)
  - 部局実施要領策定のためのガイドライン, 部局実施要領サンプル作成
  - 全部局で実施要領策定(2024年2月)
- RDMに関するリテラシー教材の整備 (<https://hdl.handle.net/2324/6796147>)
- 研究データ管理用ストレージQRDM の整備(2023年3月導入, 12月運用開始) 実効容量3PB
- 研究データ公開用に九州大学学術情報リポジトリQIRの容量増強(30TB→90TB)**
- 部門web page に研究データ管理に関する相談窓口開設
- 履修証明プログラム「研究データ管理支援人材育成プログラム」

はじめよう、  
研究データ管理



ご清聴いただきありがとうございました。